

新宮山彦ぐるーぶ第1972回ー1
春季連休中の持経宿・平治宿の巡回整備

◇実施日：平成30年4月30日(月) 晴
◇参加者：沖崎吉信、児嶋道夫、豊嶋 寛、梶野照雄。 計4名。

◇作業内容

持経宿

- ・薪持込み(児嶋)、水採取40ℓ、小屋内清掃。
- ・志納金回収と志納箱の細工。
- ・ストーブ焚口改修と煙突掃除。

平治宿

- ・志納金回収。
- ・水場径点検と水10ℓ採取。
- ・バッテリー交換(大きな容量に戻す)。

児嶋さんのバッテリー交換と持経宿・ストーブ焚口の改修をメインに作業として、児嶋さんの1屯トラックに3人が乗り、池原スポーツ公園で8時15分頃に梶野車と合流し、池郷林道へ乗入れる。

昨日か一昨日に業者により整備された様で、20分〜21分のスイスイ走行で林道ゲートに着く、問題はこの先だ。

4月22日に村吉、沖崎の二人で整備したが、強引に乗込んだので小さな落石は処理していない。ここでも豊嶋さんが小走りで行前へ前へと処理を行い、その先の点検もされる。

大きな岩角を大ハンマーで少し割り、トラックが通り易くする。又、トラック荷台から支障の倒木を処理して進んだ。

児嶋さんは小森で調達した小切った薪を積んでいるが、此処でも村吉さんがデポしていた端丸太を、新宮に持帰り薪に小切ると積込む。

ゲートから一時間を要して持経宿に9時45分頃に到着。



薪等積んだトラック 大きな岩角を少し割る 荷台から倒木処理
豊嶋、児嶋、梶野の3人は平治宿へ。沖崎は持経宿の整理整頓
等とに別け、平治宿組は出発する。
持経宿は、きれいに整頓されていたが、掃除や薪割り、トイレ
の使用済ペーパーロールの処理など行う。



持経宿に到着

平治宿・バッテリー交換

平治宿作業班

12時半過ぎに平治宿組が戻り昼食。
平治宿の作業も順調に行い、登山道、平治宿小屋、水場径共に異常なしとのこと。

13時過ぎからメインのストーブ焚口改修にかかる。



ストーブ改修道具等



接続部に耐火モルタル



ストーブ焚口改修後

事前に煙突を外しスス取り作業へ。これが取外しや屋根へ登ったりしてかなり手間取る。

続いて、事前に作製したオイルドラム缶をストーブ焚口へのセッティングも児嶋さん一人奮闘される。

その接続部を耐火セメントで固める為、不動堂裏手にデポしている砂・バラスを持ち出しモルタルに練り、塗り込み作業などで2時間半近く要した。

「今日使用出来ません」と紙を張り、やっと終了して帰り準備するも、トラックがパンクしている。Wタイヤなので此処までやって来たが、前回、今回と続いてパンクした。

児嶋、梶野氏で交換作業も、荷台の下にもぐり込んだり大変だ。



水場への林道の落石



パンクタイヤ交換



池郷林道口に下山

ここまで持経宿に泊るとやって来たのは一人のみだ。
持経宿下山も16時を過ぎていて、池郷林道入口に17時頃に下山し、本日作業者の写真を撮り解散した。
(記；沖崎)